

| | |
|-------|------------------------------|
| 提案主題 | 学校重点目標達成に向けて組織的に取り組むための教頭の役割 |
| サブテーマ | ～協働的な取組の推進をめざして～ |
| 協議の柱 | 学校全体で協働的に取り組むための方法と教頭の役割 |

提言者 大分市立戸次小学校 小野 佐由利

1 質 疑

- (1) Q 企画会議を4点セットの進捗状況の確認に主に利用しているようだが、行事等の役割分担の変更などについては、どうしているのか？
A 大きく変えるところは企画会議にかけているが、役割分担などは下話をして担当がきちんとふりわけている。校長の了解が得られればかけずにそのままおろすこともある。
- (2) Q 授業改善5点セットと研究テーマとの関係はどうなっているのか？
A 研究部の目標に「授業づくり」を掲げ、改善セットの中にリンクさせている。
- (3) Q どのようにして教職員の意識を高めるかが大事だと思うがどのようにしているか。
A アンケートやテストの結果も含めた取組の検証をしっかりとやっていくことが大事。小さな成果を大切にしていく。

2 協 議

- (1) 4点セットを意識づける方法
 - ・協議の時間を確立しておき、4点セットの進捗等について必ず話す機会をもち全員が常に意識するような環境をつくる。
 - ・やらされ感、多忙感の払拭や教務主任、研究主任との共通理解が必要
- (2) 教頭の役割
 - ・会議の時間設定や調整、見通しを持って各主任と連携、コーディネートすることが大事

3 指導助言

- (1) 組織を生かすために教頭の役割が協働性のモデルにかわってきている。
- (2) このレポートから見える「教頭の役割」のよい点として、次のことがあげられる。
 - ・4点セットの作成において前年度の反省をふまえ問題点を明確にして全職員で企画会議を有効的に活用しながら進めていっている。
 - ・主任の役割を明確にして指示し、成果と課題の見える化にしっかり取り組んでいる。
- (3) 今後について
 - ・学校や学年に共通した強みや弱みを明確化するとともに共通化していくこと、どう検証してどう繋げていくかが大事になってくる。学校全体のベクトルを合わせるために教頭の役割はとても重要である。